

12Gb/s MegaRAID® Tri-Mode Software User Guide 追補版

1. 本書について

下記のMegaRAID SASアレイコントローラ(以下、本アレイコントローラ)のご使用にあたって、ユーザーズガイド「12Gb/s MegaRAID® Tri-Mode Software User Guide」の記載を補足するものです。

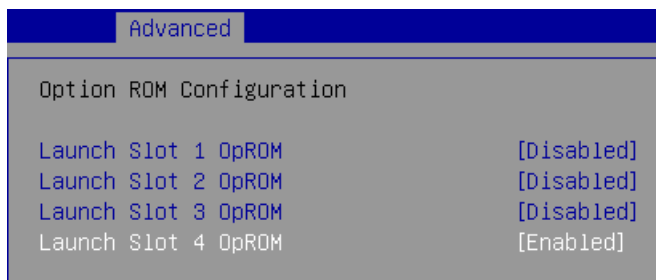
製品名	型名	アレイコントローラ名称
SAS アレイコントローラカード	PY-SR3C52 PYBSR3C52, PYBSR3C52L	PRAID EP520i
SAS アレイコントローラカード	PY-SR3C54 PYBSR3C54, PYBSR3C54L PY-SR3C55 PYBSR3C55L PYBSR3C56, PYBSR3C56L	PRAID EP540i
SAS アレイコントローラカード	PY-SR3C58 PYBSR3C58, PYBSR3C58L PYBSR3C59, PYBSR3C59L	PRAID EP580i
SAS アレイコントローラカード	PY-SR3C5E PYBSR3C5E, PYBSR3C5EL	PRAID EP540e

2. 留意事項・制限事項

2.1 UEFI モード使用時の留意事項・制限事項

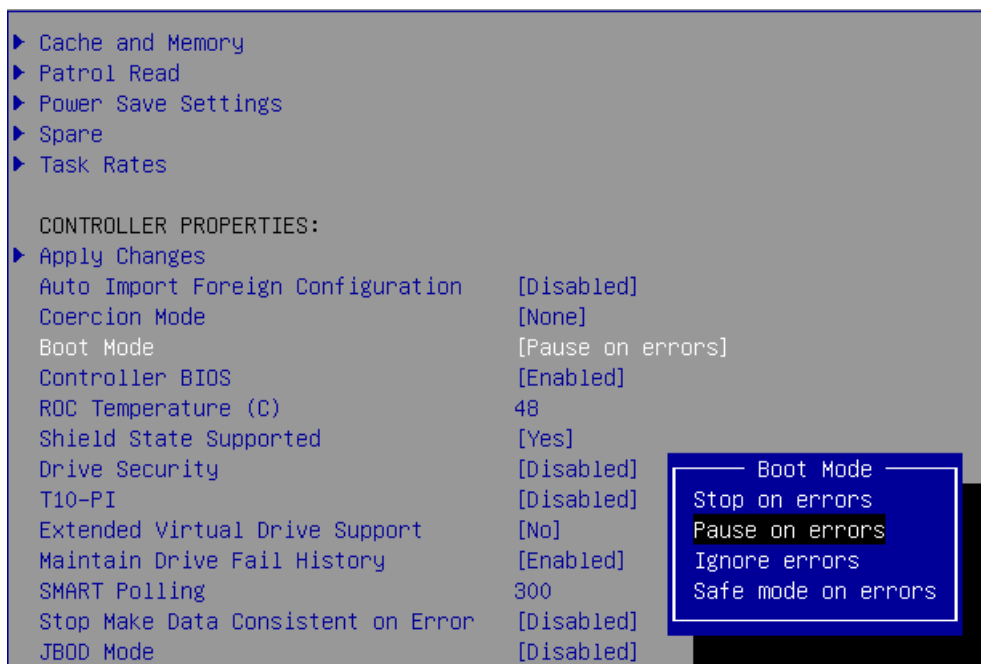
2.1.1. 本製品を搭載した全ての PCI Slot の Option ROM を Enabled に設定する必要があります。

UEFIモードにてお使いの場合は、サーバ本体のBIOS設定より、本製品を搭載した全てのPCI SlotのOption ROMをEnabledに設定してください。設定方法詳細はサーバ本体のマニュアルをご覧ください。



2.1.2. Boot Mode 設定にて Stop on errors は使用しないでください。

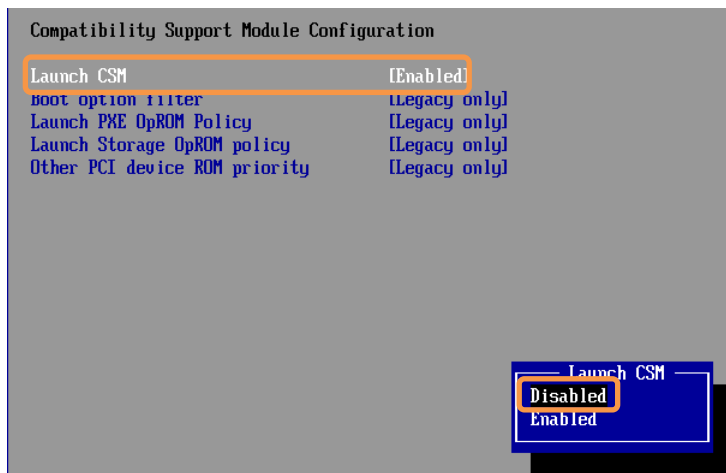
UEFIモードにてBoot ModeをStop on errorsに設定した場合、停止対象となるハードウェアエラーが発生した際、サーバが起動しなくなります。本設定は工場出荷値のPause on errorsより変更しないでください。



2.2 Legacy BIOS モード設定のサーバ本体でオフライン RAID 管理ツールをお使いになる場合

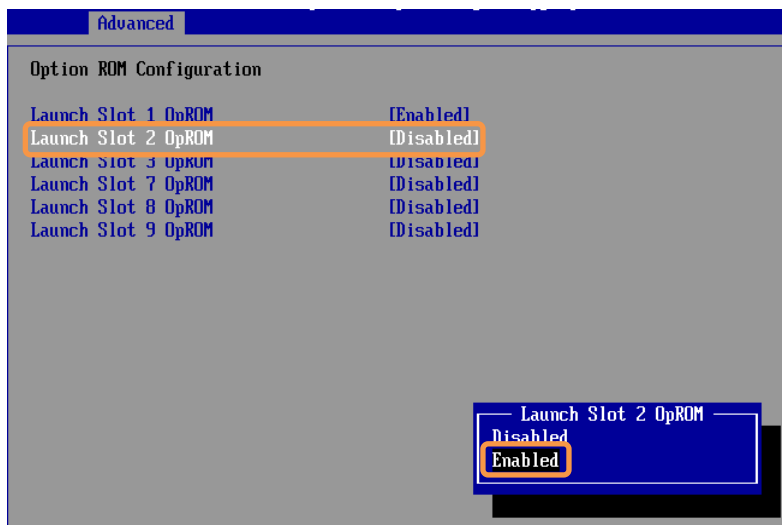
本製品は、Legacy BIOS モード用のオフライン RAID 管理ツールを搭載していません。Legacy BIOS モードに設定したサーバにてオフライン RAID 管理ツールを使用する場合は一時的に UEFI モードに設定を変更し、HII Configuration Utility をお使いください。使用後は Legacy BIOS モードに再設定してください。

- その他設定項目およびサーバ本体の BIOS セットアップユーティリティの使用法詳細は、サーバ本体の BIOS セットアップユーティリティ リファレンスマニュアルをご覧ください。
1. サーバ本体の BIOS セットアップユーティリティを起動します。
 2. 「Advanced - CSM Configuration」メニューより「Launch CSM」設定を「Disabled」に変更し、サーバを再起動します。



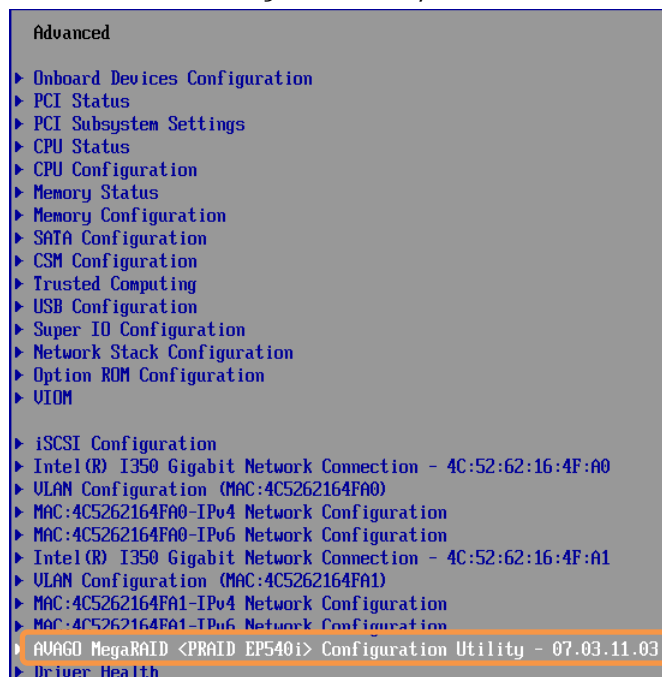
3. 再度サーバ本体の BIOS セットアップユーティリティを起動します。
4. 「Advanced - Option ROM Configuration」メニューより、設定を実施したいアレイコントローラカードを搭載した PCI スロットの OpROM 設定を確認し、「Disabled」であった場合は、「Enabled」に変更し、サーバを再起動します。「Enabled」設定であった場合は手順 6 以降を実施します。

➤ 設定値を変更する場合は作業完了後設定値を復元するため、変更した設定値の記録を残してください。



5. 再度サーバ本体の BIOS セットアップユーティリティを起動します。

6. 以上で設定は完了です。「Advanced」メニューの一覧より、管理・設定を行いたいアレイコントローラカードを選択することで、HII Configuration Utility を起動することができます。



7. 作業完了後は、上記手順にて変更した設定値を元に戻してください。

2.3 PRAID EP540e に接続したドライブへのアクセス時、サーバ前面の HDD/SSD アクセスランプは点灯しません

PRAID EP540eに接続した外付けハードディスクキャビネットに搭載したドライブのアクセス状況は、外付けハードディスクキャビネットのディスクアクセスパネルまたは、各ドライブの動作ステータスLEDを参照してください。

また、PRAID EP540eをサーバ本体に取り付ける際、サーバ本体の「アップグレード&メンテナンスマニュアル」または「Modular RAIDコントローラPRAID EP5x0i/EP5x0e (SAS 3.0) 取扱説明書」にHDD LEDケーブルを接続する指示がある場合も、本製品にHDD LEDケーブルは添付されないため、接続は不要です。

2.4 【修正済】システム起動時に一部のハードディスクドライブの初期化に失敗し、故障と誤判定する不具合があります

※ 本不具合はファームウェア 50.7.2-2553 にて修正済です。

◆ 概要

下記の PRIMERGY サーバおよび SAS アレイコントローラカードに内蔵 2.5 インチ BC-SATA HDD を搭載した構成にて、SAS アレイコントローラカードの初期化処理の際、一部のハードディスクドライブを故障と誤判定します。

対象 PRIMERGY サーバ	型名	製品名称
RX2520 M4	PYR2524RBN	PRIMERGY RX2520 M4 ラックベースユニット (2.5 インチ HDD/SSD×16)
RX2540 M4	PYR2544RDN	PRIMERGY RX2540 M4 ラックベースユニット (2.5 インチ HDD/SSD×16)
TX2550 M4	PYT2554TCN	PRIMERGY TX2550 M4 タワーベースユニット (2.5 インチ HDD/SSD×16)
TX2550 M4	PYT2554RAN	PRIMERGY TX2550 M4 ラックベースユニット (2.5 インチ HDD/SSD×16)

対象 SAS アレイコントローラカード	型名	ファームウェアパッケージ版数
PRAID EP540i	PY-SR3C54	50.3.4-1169
	PYBSR3C54	50.3.4-1097
	PYBSR3C54L	50.1.0-0521
PRAID EP580i	PY-SR3C58	50.3.4-1169
	PYBSR3C58	
	PYBSR3C58L	

◆ 不具合を未然に防ぐ方法

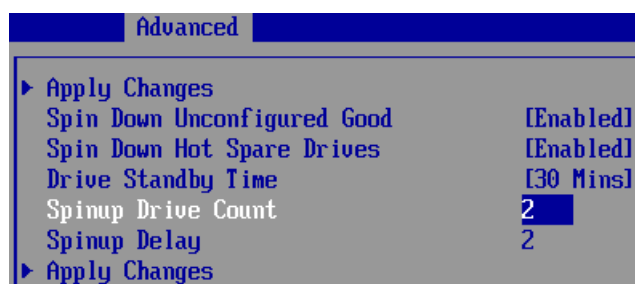
下記手順よりスピナップドライブ数の設定を[2]から[4]に変更し、ドライブ全体のスピナップに要する時間を削減してください。

- 2019 年 4 月以降に出荷された対象構成の装置においては、工場出荷時より本回避策が適用されている場合があります。

HII Configuration Utility を使用する場合

Main Menu→Controller Management→Advanced Controller Properties→Power Save Setting より設定画面を開き、[Spinup Drive Count]を[4]に設定してください。

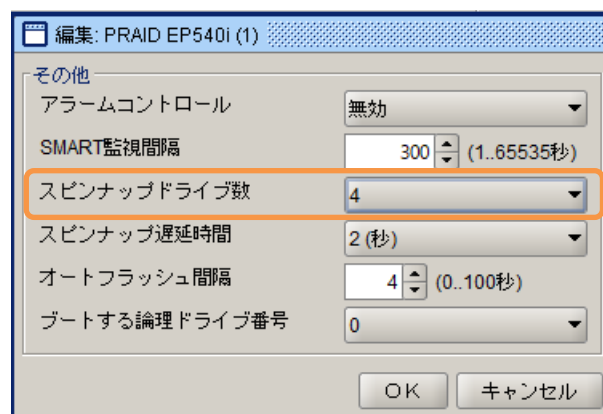
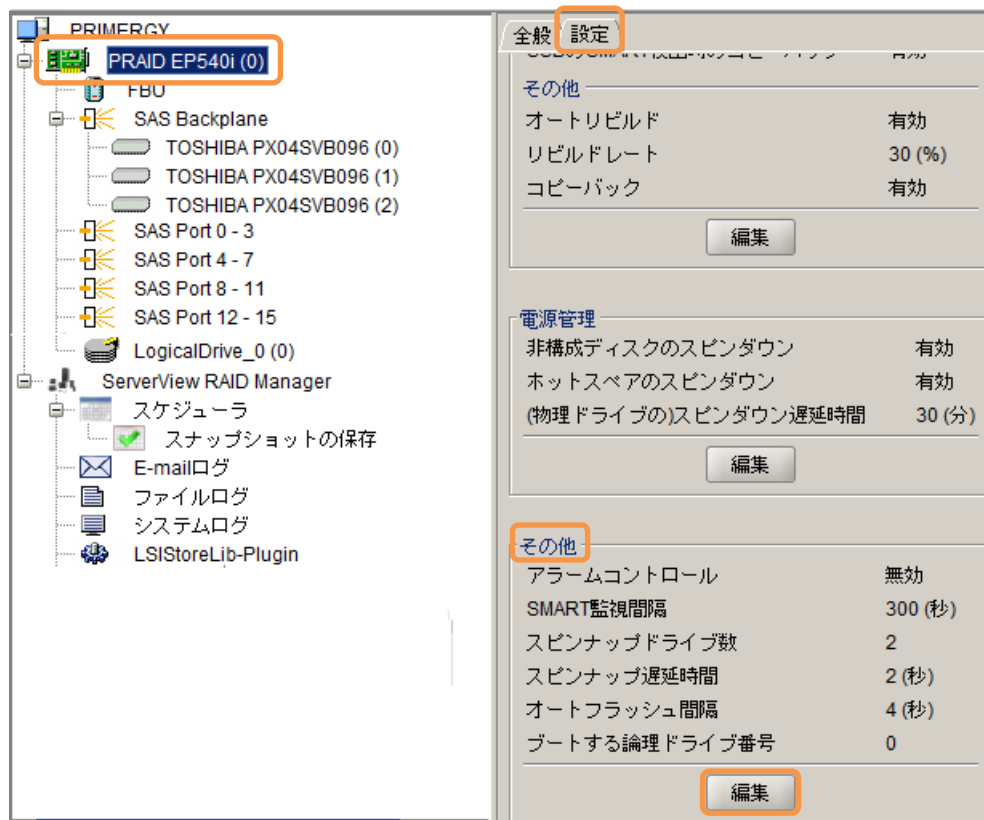
- HII Configuration Utility の起動方法等の手順詳細は、User Guide 「3.1 HII Configuration Utility の開始・終了」「3.5.10 節電機能の管理」をご覧ください。
- 変更した設定値は、将来本製品の保守作業を実施する際に必要となる場合がありますので、変更した設定値を記録してください。



ServerView RAID Manager を使用する場合

対象アレイコントローラの[設定]タブより、[その他][編集]を選択し、[スピナップドライブ数]を[4]に設定してください。

- ServerView RAID Manager の起動方法等詳細は、ServerView RAID Manager ユーザーズガイドを参照してください。
- 変更した設定値は、将来本製品の保守作業を実施する際に必要となる場合がありますので、変更した設定値を記録してください。



3. NVMe ドライブ(2.5 インチ PCIe SSD)使用時の留意事項・制限事項

3.1 NVMe ドライブを接続するための要件

NVMeドライブを接続するためには、本製品とNVMeドライブとの接続をサポートしているサーバ本体(ベースユニットまたはベイ追加オプション)が必要です。詳細は、サーバ本体のシステム構成図をご覧ください。

3.2 NVMe ドライブのベンダ名称およびファームウェア版数が一部表示されません。

HII Configuration Utility, ServerView RAID Manager, iRMC S5 WebUIに表示されるNVMeドライブ管理情報のうち、ベンダ名称の末尾3桁およびファームウェア版数の先頭4桁が表示されません。

3.3 VMware ESXi では未サポートです。

2019年9月現在、本製品にNVMeドライブを接続した構成は、VMware環境ではお使いになれません。